学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	映像概論	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	CG＆映像しくみ事典（株式会社ボーンデジタル）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の専門性を高めるため、写真技術を土台に映像表現の基礎・基本を学ぶ科目です。ビデオカメラの構造や光・色の特性、デジタル処理の仕組みを理論的に習得します。制作ワークフローを理解し、自らの思考を映像作品として具体化する力を養います。主体的かつ協働的に取り組む姿勢を重視し、小テストや「振り返り」を含む提出物の充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
動画の仕組みや放送、デジタル処理の理論を理解し、映像構成に必要な基礎知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
映像表現の効果を理解し、適切な制作工程や表現を判断・選択して企画を視覚化する表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
専門用語を理解し、広い視野で映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビデオカメラの基本構造や光を映像信号に変える仕組み、表示方法を正しく理解し、動画の原理やライティング、映像制作のワークフローに関する基礎知識を習得することを重視する。放送の歴史や役割、デジタル映像処理におけるファイル形式や圧縮技術についても学び、映像構成に必要な専門的知識・技術の定着を評価する。	映像表現の効果やメディアとしての重要性を認識し、目的に合った制作工程や照明技法を論理的に選択・判断できる力を評価する。動画の仕組みやデジタル処理の特性を理解した上で、自身の表現意図を映像デザイン作品として具体化するための企画・構成力を重視する。科学的な根拠に基づき、適切な表現手段を判断・選択する能力を評価対象とする。	映像デザイン分野に対して広い視野と興味関心を持ち、専門用語の理解や技術習得に自ら意欲的に取り組む姿勢を評価する。学習内容に強い関心を示し、自主的・継続的な学びを通じて自己の表現力を高めようとする探究心を重視する。映像デザインの発展を目指し、主体的かつ協働的に表現の可能性を追求する態度を評価の対象とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ライティング	露出、色温度、演色性といった光の物理的特性を学び、照明機材の基本構造とライトポジションによる演出効果を習得する。	a:照明機材の基本構造、および光の仕組みを正しく理解している。 b:目的に応じた適切な技術を科学的根拠に基づいて選択・判断できる。 c:映像制作技術の習得に強い意欲を持ち、映像デザイン分野の視野を広げ、自らの表現を向上させようとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	動画の仕組み	人間の視覚や残像現象といった動画が動いて見える原理を学び、スクリーンサイズ、音響システム、再生方式などの表示技術について理解を深める。	a 動画の原理、デジタル映像のファイル形式や再生システムに関する専門的な知識を習得している。 b:目的に応じた適切な技術を科学的根拠に基づいて選択・判断できる。 c:映像制作技術の習得に強い意欲を持ち、映像デザイン分野の視野を広げ、自らの表現を向上させようとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
2	放送	放送局網や電波の仕組み、デジタル放送の技術を学び、マスメディアとしての放送の歴史と社会的役割について考察する。	a:放送システムや圧縮技術に関する専門的な知識を習得している。 b:目的に応じた適切な技術を科学的根拠に基づいて選択・判断できる。 c:映像制作技術の習得に強い意欲を持ち、映像デザイン分野の視野を広げ、自らの表現を向上させようとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	映像制作	プリプロダクション（シナリオ・絵コンテ）からポストプロダクションまでの制作工程の全体像を学ぶ。名作映画の鑑賞を通じて、効果的な映像表現技術を習得する。	a: 映像制作のワークフローを把握し、専門用語の意味を正しく理解している。 b:目的に応じた適切な技術を科学的根拠に基づいて選択・判断できる。 c:映像制作技術の習得に強い意欲を持ち、映像デザイン分野の視野を広げ、自らの表現を向上させようとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況

3	デジタル映像処理	アナログ・デジタル変換、ファイル形式、圧縮の仕組み（コーデック）など、デジタル映像の記録と処理に関する専門知識を習得する。	a:デジタル映像のファイル形式や圧縮技術に関する専門的な知識を習得している。 b:目的に応じた適切な技術を科学的根拠に基づいて選択・判断できる。 c:映像制作技術の習得に強い意欲を持ち、映像デザイン分野の視野を広げ、自らの表現を向上させようとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度